



目次

固体イオニクス学会会長の就任にあたって	p 2
2018(平成30)年度予算報告	p 3
第8回総会報告および決算公告	p 4
第44回固体イオニクス討論会報告	p 9
第22回超イオン導電体物性研究会(第73回固体イオニクス研究会)報告	p10
第15回固体イオニクスセミナー開催のご案内	p11
第2回ヒドリドイオニクス研究会(第75回固体イオニクス研究会)開催のご案内	p12
第45回固体イオニクス討論会開催のご案内	p13
お知らせ	p14
本年度年会費・連絡事項	p15

固体イオニクス学会会長の就任にあたって

代表理事・会長 菅野了次

今年度より、固体イオニクス学会の会長を仰せつかりました菅野 了次です。この歴史のある学会の会長としてこれから活動させていただくにあたって、一言ご挨拶させていただきます。

皆様もよくご存知の通り、固体イオニクス（英語名ではSolid State Ionics）は、固体の中をイオンが高速で拡散する現象を取り扱う幅広い学問領域として発展してきました。物質の中のイオンが拡散する現象であれば、有機物質から、無機物質、鉱物、金属、ポリマーなどありとあらゆる物質を、さらには粉体材料から単結晶、アモルファス材料などさまざまな形態を取り扱います。また、この学会が設立された経緯も独特であります。すなわち、物理、金属、セラミックス、化学などの様々な分野の研究者が、固体の中のイオン拡散現象にまつわる種々の課題を、理論と実験の両面から深く掘り下げて取り扱おうとする意欲的な試みのもとに出発した学会です。学会の英語名であるSolid State Ionicsは、この研究分野の生みの親とも称される高橋武彦先生が命名したもので、日本人が命名した名称が国際学会の名前になった大変誇らしい名称です。電子が固体の中を動く現象を取り扱う学問領域がElectronicsと呼ばれるのに対して、イオンが関与するそれをIonicsとよび、Electronicsに匹敵する学問に育てたいというのがこの命名の意図するところであったと伺っています。これまでは、とてもElectronicsに対応するほどの学問的な広がりを持っていなかったことはご存知の通りです。しかし、この分野が生み出されて以来長い年月をかけて、その基礎学問が発展してより深化するとともに、応用分野ではセンサーや燃料電池が実用化され、さらにはリチウム電池の実用化から固体電池への研究開発の広がりが現実のものとなっています。古くからこの分野に関与してきた一研究者としては感慨深いものがありますが、この分野のさらなる発展のためには、現在が極めて重要なターニングポイントであると言えます。

一方、学会の運営に関しては、日本の他の学会と同様に多くの課題が存在します。幸い、山口前々会長、河村前会長の多くの努力のもとで、現在の学会運営形態が確立しました。固体イオニクス学会が主催する討論会は、イオンの拡散現象に関連する様々な研究成果について、活発に議論できるユニークで面白い会議に発展していますし、基礎物理の分野の研究会をはじめ種々の分科会が主宰する研究会も活発に活動しています。何よりも、討論会や各研究会で活発な議論を行なっているのが、多くの若手研究者やこの分野に入ったばかりの学生諸君であることは、大変嬉しいことです。皆様のこれらの活動への参加を是非お願いしたいと存じます。

固体イオニクスの分野の特徴は、学問的な広がりに加えて基礎から応用までを得意とする研究者・技術者の交流の場であることです。大学の基礎研究者が研究領域の広がりを超えてその先にある応用から実用デバイスへの展開を実感できること、また企業の技術者が、開発しているデバイスの基となる基礎学問について基礎研究者と議論を交わすことなどが、これからの固体イオニクスの学問のさらなる発展と広がりを作っていくものと考えます。

この固体イオニクスの学問分野の発展に、少しでも貢献できるように努力いたしますので、この分野の発展に是非ともお力添えをよろしくお願い申し上げます。

2018(平成30)年度予算報告

本法人理事会において、2018(平成30)年度予算が承認されましたので、ご報告申し上げます。

経常収益

①受取会費	¥1,034,000	
個人社員会費		¥185,000
個人会員会費		¥549,000
法人会員会費		¥300,000
②事業収益	¥4,267,000	
第44回固体イオニクス討論会		¥2,437,000
第72回固体イオニクス研究会(第1回ヒドリドイオニクス研究会)		¥0
第73回固体イオニクス研究会(第22回超イオン導電体物性研究会)		¥180,000
第74回固体イオニクス研究会		¥180,000
第15回固体イオニクスセミナー		¥1,470,000
③雑収益	¥16,000	
要旨集		¥15,000
受取利子		¥1,000
経常収益 計	¥5,317,000	

経常費用

①事業費	¥4,491,516	
第44回固体イオニクス討論会		¥2,361,516
第72回固体イオニクス研究会(第1回ヒドリドイオニクス研究会)		¥0
第73回固体イオニクス研究会(第22回超イオン導電体物性研究会)		¥330,000
第74回固体イオニクス研究会		¥330,000
第15回固体イオニクスセミナー		¥1,470,000
②管理費	¥1,234,000	
会議費		¥70,000
印刷製本費		¥10,000
旅費交通費		¥50,000
謝金		¥500,000
給与		¥0
通信費		¥80,000
消耗品		¥10,000
委託費		¥324,000
雑費		¥20,000
予備費		¥100,000
租税公課		¥70,000
経常費用 計	¥5,725,516	
当期経常増減額	(¥408,516)	
一般正味財産期首残高	¥9,626,723	
一般正味財産期末残高	¥9,218,207	

第 8 回総会報告

2018(平成 30)年 12 月 6 日に定時総会が行われました。

第 1 号議案 2017(平成 29)年度 (2017(平成 29)年 10 月 1 日～2018(平成 30)年 9 月 30 日)
事業報告、収支決算の承認および監査報告の件：承認

第 2 号議案 2017(平成 29)年度収支差額の全額を 2018(平成 30)年度に繰り越す件：承認

第 3 号議案 2018(平成 30)年度社員の件：承認

第 4 号議案 理事・監事任期満了につき改選の件

(理事：江口浩一、菅野了次、小林哲郎、山田淳夫、雨澤浩史、

監事：石原達己、安仁屋勝)

(直後の理事会で、代表理事：菅野了次、副会長：小林哲郎、江口浩一を
選出しました。)

2017(平成29)年度事業報告

(2017(平成29)年10月1日～2018(平成30)年9月30日)

理事会・総会(理事会・総会の回数は法人設立以降の通し番号)

第 26 回理事会	2017(平成 29)年	10 月 30～11 月 2 日	電磁的方法
第 27 回理事会	同	12 月 5 日	定時
第 7 回総会(懇談会)	同	12 月 6 日	定時
第 28 回理事会	2018(平成 30)年	4 月 12 日～4 月 16 日	電磁的方法
第 7 回総会	同	4 月 17 日～4 月 27 日	電磁的方法
第 29 回理事会	同	6 月 12 日～6 月 20 日	電磁的方法
第 30 回理事会	同	8 月 2 日～8 月 10 日	電磁的方法

研究会・討論会

第43回固体イオニクス討論会

日 時：2017(平成29)年12月5日(火)～7日(木)

世話人：東北大学 川田 達也 氏、山形大学 臼杵 毅 氏

場 所：天童温泉 ほほえみの宿 滝の湯

講演数：110 件 (一般講演 107 件、特別講演 3 件)

参加者：205 名 (内予約 154 名)、懇親会 96 名

第69回固体イオニクス研究会(第 2 回 有機・バイオイオニクス研究会)

日 時：2018(平成30)年3月12日(月)

世話人：摂南大学 松尾 康光 氏

場 所：摂南大学 寝屋川キャンパス

講演数：9 件 (一般講演 6 件、招待講演 3 件)

参加者：31 名

第70回固体イオニクス研究会(第21回超イオン導電体物性研究会)

日 時：2018(平成30)年6月1日(金)～2日(土)

世話人：CROSS 坂口 佳史 氏

場 所：いばらき量子ビーム研究センター(茨城県那珂郡東海村白方 162-1)

講演数：21 件 (一般講演 19 件、招待講演 2 件)

参加者：35 名

第71回固体イオニクス研究会

日 時：2018（平成30）年9月28日（金）
世話人：京都大学 宇田 哲也 氏：テーマ プロトン伝導体
場 所：京都大学吉田キャンパス
講演数：7件
参加者：56名

第14回固体イオニクスセミナー

日 時：2018（平成30）年9月2日（日）～4日（火）
世話人：物材機構 土屋 敬志 氏
場 所：越後湯沢 湯沢ニューオータニ
講演数：49件（チュートリアル講演4件、若手講演4件、ポスター発表41件）
参加者：63名

共催等関連事業**【協賛】3rd Solid-State Chemistry & Ionics Workshop**

主 催：文科省新学術領域研究「複合アニオン化合物の創製と新機能」
国際ワークショップ
日 時：2017（平成29）年11月7日（火）
場 所：九州大学稲盛フロンティア研究センター 稲森ホール（福岡市西区元岡 744）

【協賛】第58回電池討論会

主 催：電気化学会 電池技術委員会
日 時：2017（平成29）年11月14日（火）～16日（木）
場 所：福岡国際会議場（福岡市博多区石城町 2-1）

【協賛】第45回ニューセラミックスセミナー

主 催：ニューセラミックス懇話会
日 時：2018（平成30）年2月26日（月）
場 所：大阪産業創造館（大阪市中央区本町 1-4-5）

【協賛】5th Solid-State Chemistry & Ionics Workshop

主 催：Solid-state Chemistry & Ionics (SCI)
九州大学エネルギー研究教育機構 (Q-PIT)
日 時：2018（平成30）年9月10日（月）～13日（木）
場 所：九州大学 西新プラザ（福岡市早良区西新 2-16-23）

ニュースレター発行

2回（平成29年10月31日，平成30年6月29日）

会員異動（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

平成29年10月1日現在：法人6社，個人232人（名誉会員を含む）
入会：法人無し，個人11人
退会：法人無し，個人10人
平成30年9月30日現在：法人6社，個人233人（名誉会員を含む）

決算公告

法人法に従い、定時総会の承認を受けた決算を電子公告しております。
 本法人のウェブページ <http://www.ssi-j.org/> に掲載しております。

貸借対照表

平成30年 9月30日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,128,797	9,702,677	426,120
未収金	0	420,000	△ 420,000
仮払金	4,800	137,040	△ 132,240
流動資産合計	10,133,597	10,259,717	△ 126,120
資産合計	10,133,597	10,259,717	△ 126,120
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	324,000	706,828	△ 382,828
前受金	145,600	0	145,600
預り金	2,274	9,096	△ 6,822
未払法人税等	35,000	35,000	0
流動負債合計	506,874	750,924	△ 244,050
負債合計	506,874	750,924	△ 244,050
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	9,626,723	9,508,793	117,930
正味財産合計	9,626,723	9,508,793	117,930
負債及び正味財産合計	10,133,597	10,259,717	△ 126,120

正味財産増減計算書

平成29年10月 1日から平成30年 9月30日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	[1,123,000]	[783,000]	[340,000]
個 人 会 費	770,000	583,000	187,000
法 人 会 費	353,000	200,000	153,000
事 業 収 益	[4,735,800]	[4,234,000]	[501,800]
参 加 費	(2,435,000)	(1,979,000)	(456,000)
会 員 費	917,500	842,000	75,500
共 催 ・ 協 賛	242,000	543,000	△ 301,000
一 般 生 示	281,000	231,000	50,000
学 展	354,500	293,000	61,500
旅 費 交 通 費	640,000	70,000	570,000
会 助 交 議 成 金	1,047,000	1,065,000	△ 18,000
受 取 寄 付 金	918,800	770,000	148,800
雑 収 益 集 息	335,000	420,000	△ 85,000
要 旨 利 息	[39,666]	[0]	[39,666]
受 取 利 息	[3,037]	[24,004]	[△ 20,967]
要 旨 利 息	3,000	23,980	△ 20,980
受 取 利 息	37	24	13
経常収益計	5,901,503	5,041,004	860,499
(2) 経常費用			
事 業 費	[4,721,048]	[4,209,611]	[511,437]
会 議 費	2,310,740	2,469,978	△ 159,238
印 刷 製 本 費	509,366	295,272	214,094
旅 費 交 通 費	1,392,262	967,686	424,576
謝 金 費	444,471	412,061	32,410
通 信 費	25,246	23,012	2,234
消 耗 品 費	29,991	32,744	△ 2,753
雑 費	8,972	8,858	114
管 理 費	[992,525]	[544,022]	[448,503]
会 議 費	24,550	69,850	△ 45,300
印 刷 製 本 費	0	780	△ 780
旅 費 交 通 費	24,300	0	24,300
謝 金 費	521,655	0	521,655
通 信 費	74,440	91,126	△ 16,686
消 耗 品 費	3,472	622	2,850
委 託 費	324,000	367,200	△ 43,200
雑 費	20,108	14,444	5,664
経常費用計	5,713,573	4,753,633	959,940
評価損益等調整前当期経常増減額	187,930	287,371	△ 99,441
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	187,930	287,371	△ 99,441
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法 人 税 等	[70,000]	[70,000]	[0]
当期一般正味財産増減額	117,930	217,371	△ 99,441
一般正味財産期首残高	9,508,793	9,291,422	217,371
科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産期末残高	9,626,723	9,508,793	117,930
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	9,626,723	9,508,793	117,930

(一社)日本固体イオニクス学会 社員 (2018年12月6日現在)

会 長・代表理事	菅野 了次	(東京工業大学科学技術創成研究院)
副会長・理事	小林 哲郎	(株)豊田中央研究所)
〃	江口 浩一	(京都大学大学院工学研究科)
理 事	山田 淳夫	(東京大学大学院工学系研究科)
〃	雨澤 浩史	(東北大学多元物質科学研究所) [事務局担当]
監 事	石原 達己	(九州大学大学院工学研究院)
〃	安仁屋 勝	(熊本大学大学院先端科学研究部)
社 員	稲熊 宜之	(学習院大学理学部)
〃	稲葉 稔	(同志社大学理工学部)
〃	臼杵 毅	(山形大学理学部)
〃	内田 裕之	(山梨大学クリーンエネルギー研究センター)
〃	内本 喜晴	(京都大学大学院人間・環境学研究科)
〃	小俣 孝久	(東北大学多元物質科学研究所)
〃	川田 達也	(東北大学大学院環境科学研究科)
〃	高田 和典	(物質・材料研究機構)
〃	奥村 壮文	(株)日立製作所・日立研究所)
〃	高村 仁	(東北大学大学院工学研究科)
〃	辰巳砂 昌弘	(大阪府立大学大学院工学研究科)
〃	中村 浩一	(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部)
〃	野村 勝裕	(産業技術総合研究所)
〃	幅崎 浩樹	(北海道大学大学院工学研究院)
〃	堀田 照久	(産業技術総合研究所)
〃	松尾 康光	(摂南大学理工学部)
〃	松本 広重	(九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所)
〃	宮山 勝	(東京大学大学院工学系研究科)
〃	山崎 仁丈	(九州大学 稲盛フロンティア研究センター)
〃	今西 誠之	(三重大学大学院工学研究科)
〃	入山 恭寿	(名古屋大学大学院工学研究科)
〃	寺部 一弥	(物質・材料研究機構)
〃	宇田 哲也	(京都大学大学院工学研究科)
〃	忠永 清治	(北海道大学大学院工学研究院)
〃	一杉 太郎	(東京工業大学物質理工学院)
〃	藪内 直明	(横浜国立大学大学院工学研究院)
〃	高橋 東之	(茨城大学大学院理工学研究科)

(一社)日本固体イオニクス学会 名誉会員 (平成30年12月6日現在)

幸塚 善作	(大阪大学名誉教授)
山本 治	(三重大学名誉教授)
岩原 弘育	(名古屋大学名誉教授)
工藤 徹一	(東京大学名誉教授)
服部 武志	(元東北大学教授)
小久見 善八	(京都大学産官学連携本部)
今井 淳夫	(元愛知工業大学参与)
南 努	(大阪府立大学名誉教授)
小林 迪助	(新潟大学名誉教授)
水崎 純一郎	(東北大学名誉教授)
武田 保雄	(三重大学名誉教授)
横川 晴美	(東京大学生産技術研究所)
山口 周	(大学改革支援・学位授与機構研究開発部)
河村 純 一	(東北大学研究推進機構)

第44回固体イオニクス討論会報告

京都大学 内本喜晴

2018年12月5日-7日に京都大学吉田キャンパスにて『第44回固体イオニクス討論会』を開催致しました。この時期の京都は紅葉が見ごろで、宿が大変確保しにくい状況にもかかわらず、事前登録、当日登録を合わせて262名と多くの方々にご参加いただきました。「イオン導電性固体の創生と利用技術」、「固体内イオン移動機構の解明」、「電池・燃料電池材料の基礎」を討論主題とし、本討論会の伝統である10分間の討論時間も確保しつつ、3つの会場で大変活発な議論が行われました。

発表件数は、一般講演118件、特別講演2件を合わせた120件でした。特別講演では京都大学の陰山洋教授に『酸水素化物の機能開拓：イオン伝導の視点から』、大阪府立大学の林晃敏教授に『硫化物系アルカリイオン伝導体を用いた全固体電池の開発』という演題でそれぞれヒドリド等の新しいイオン伝導種を含む固体イオニクス材料の開発に必要な固体材料の設計指針、最近注目されている全固体リチウムイオン二次電池、ナトリウムイオン二次電池の応用について、ご講演いただきました。また討論会の1日目には摂南大学村田幸作教授の『海洋バイオマスの利活用 ～バイオマス資源の開発と物質生産基盤～』という演題の招待講演1件を含む10件のバイオイオニクスセッションを摂南大学松尾康光先生に企画頂きました。

討論会2日目の夕方には、京都大学時計台記念館国際交流ホールにて懇親会を開催し、96名の方にご参加をいただきました。京都伏見の日本酒と食事を十分に楽しみながら議論に華を咲かせていただきたいという思いで企画し、京都市の条例に従いまして乾杯は日本酒にて行わせていただきました。ご参加頂いた方々に楽しんで頂けていれば、世話人一同大変嬉しく存じます。懇親会の際には学会本部より日本固体イオニクス学会の新ロゴマークの発表、次期役員紹介、今後の学会などの案内が行われました。

本討論会は、応用物理学会、高分子学会、電気化学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本物理学会の各学会にご協賛いただき開催されました。また、アントンパール・ジャパン様、イーシーフロンティア様、英和様、KRI 様、西部技研様、チノー様、東洋システム様、東陽テクニカ様、豊島製作所様、ニッカトー様、日産アーク様、PEC Japan 様、富士色素様、フリッチュ・ジャパン様、宝泉様、北斗電工様、堀場製作所様、美和製作所様に企業展示・要旨集への広告によるご協力をいただきました。この場をお借りして、ご参加、および運営にご協力していただいた全ての皆様に心より御礼を申し上げます。

次回の第45回固体イオニクス討論会は九州大学の石原達巳先生のお世話により、九州大学伊都キャンパスにて開催していただきます。皆様方と再度活発な討論ができることを楽しみにしております。



3日目最後のセッションでの発表の様子

第22回超イオン導電体物性研究会(第73回固体イオニクス研究会)報告

琉球大学理学部 田原周太

2006年に開催されました第10回超イオン導電体物性研究会(世話人:友寄友造 現・琉球大学理学部名誉教授)から実に13年ぶりの沖縄での開催となりました。沖縄は台風の多い地域がら、研究会の中止や航空機の発着の混乱などを避ける目的で、例年よりも早い5月下旬の開催となりました(第10回のおきもおそらく同じ目的で、5月に開催されております)。幸いにして台風は免れ、更には梅雨に入っているにも関わらず、雲のない晴天に恵まれ、23名の参加者(発表18件)による、活発な議論が行われました。

初日の午後に、東北大学の河村純一特任教授(URAセンター長)による特別講演「超イオン導電体と固体イオニクス材料の基礎」を行って頂きました。この特別講演では、これまでの超イオン導電体と固体イオニクス材料の研究の歴史や先生ご自身のご研究をふり返って、様々な物質群に見られるイオン伝導機構の共通性や違い、未解決問題を概説して頂きました。本特別講演の要旨は28ページにおよび、時代が令和に移った最初の記念すべき要旨集としてふさわしいものではないかと感じております。

初日の夜には創業41年の老舗、四つ竹(久米店)にて懇親会を開催しました。ミミガー(豚の耳)や、らふてー(豚の角煮)のような琉球伝統料理に加え、沖縄伝統芸能の1つである琉球舞踊をご観覧頂き、沖縄ならではの文化に触れながら、議論に華を咲かせて頂いたのではないかと想像しております。

最後に、本研究会は日本物理学会、応用物理学会の各学会にご協賛頂き開催されました。この場をお借りして、ご参加頂きました皆様、学会事務局および運営にご協力して頂いた全ての皆様に心よりお礼を申し上げます。



東北大・河村純一先生による特別講演



会場の様子



懇親会場での記念撮影

第15回固体イオニクスセミナー開催のご案内**1. 開催日時・場所**

- ・日時：2019年9月1日（日）13:30～3日（火）12:00
- ・場所：湖邸滋びわこクラブ（滋賀県大津市北小松）
- ・主催：日本固体イオニクス学会

2. 内容

- ・固体イオニクスや物質科学に関するチュートリアル講演
- ・参加者によるポスター研究発表
- ・参加者の中から選ばれた若手研究者による依頼講演（口頭発表）

3. 募集

人数： 60 名（お申込み多数の場合は、調整させていただく場合があります）

対象： 固体イオニクス，物質科学，固体化学に取り組む（これから取り組もうとしている）研究者や学生。参加者から広くポスター発表を募集しております（聴講のみでも結構です）。内容は既発表の成果，未完成の研究でも結構です。また若手依頼講演は若手研究者の自己 PR の場であると位置付け，参加者から募集します。詳細は Web をご覧ください。

4. チュートリアル講演

1. 固体イオニクス材料の物質開拓

東京工業大学 菅野 了次 先生

2. 第一原理計算・統計力学計算・機械学習による材料物性予測

京都大学 世古 敦人 先生

3. 固体 NMR によるペロブスカイト型酸化物の欠陥の解明

東北大学 及川 格 先生

4. 発電細菌・固体界面における膜タンパクを介した電子とイオン移動研究の最前線

物質・材料研究機構 岡本 章玄 先生
(御講演順)

5. 参加費，宿泊費（※参加費，宿泊費ともに当日支払い）

参加費：15,000 円（一般），5,000 円（学生）

宿泊費：19,000 円（2泊3日），10,000 円（1泊2日）（一般，学生とも同じ）

6. 申込

参加申込： 締切 8 月 5 日（月）

要旨提出： 締切 8 月 9 日（金）

7. 問合せ・申込先

第15回固体イオニクスセミナー世話人：豊浦 和明 京都大学

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL. 075-753-3551, FAX. 075-753-5284

E-mail: toyoura.kazuaki.5r@kyoto-u.ac.jp

Web: <https://www.ssi-j.org/symp/ssis15/>

第2回ヒドリドイオニクス研究会（第75回固体イオニクス研究会）開催のご案内**1. 概要**

昨年度に引き続き、第2回ヒドリドイオニクス研究会を開催いたします。今年度は、H導電体とH/e混合導電体の物質開発、Hに関連する触媒反応と材料開発、固体内のHの計測に関する講演から、Hに関連する固体イオニクスの現状と将来展望について議論していきたいと思ひます。

2. 開催日時・場所

- ・日時：2019年10月24日（木）10:00～
- ・場所：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター 中会議室 (<http://www.orion.ac.jp/occ/>)
- ・主催：日本固体イオニクス学会
- ・協賛：自然科学研究機構 分子科学研究所

3. 募集

人数：50 ～ 100名程度

4. 講演プログラム（暫定）

- 10:30 - 10:35 開会挨拶
- 10:35 - 11:20 小林 玄器（分子科学研究所）
ヒドリド導電体および電気化学デバイス開発の現状と課題
- 11:20 - 12:05 飯村 壮史（東京工業大学）
酸水素化ランタンの中温域高速ヒドリドイオン伝導
- 12:05 - 13:30 昼休憩
- 13:30 - 14:15 青木 芳尚（北海道大学）
金属窒化物のヒドリド導電（仮題）
- 14:15 - 15:00 小林 洋治（京都大学）
Ti系金属酸水素化物の触媒性能（仮題）
- 15:00 - 15:15 休憩
- 15:15 - 16:00 北野 政明（東京工業大学）
低温アンモニア合成を目指した電子化物・水素化物触媒材料の開発（
- 16:00 - 16:45 野田 泰斗（京都大学）
ヒドリド化合物の固体NMR
- 16:45 - 17:00 総合討論
- 17:00 - 17:10 閉会挨拶
- 17:15 - 19:00 懇親会・意見交換会

5. 参加費、資料代（当日支払い）

参加費：無料（別途資料代を必要とする場合があります。（確定後にWeb掲載））

懇親会費：一般 3000円，学生 1000円（暫定．参加人数によって変動）

6. 参加申込締切

10月20日（金）

7. 申込方法：近日中に申し込みフォームをWeb掲載予定。学会事務局を通して周知いたします。**8. 問合せ先**

第二回ヒドリドイオニクス研究会 世話人：小林 玄器（分子科学研究所 物質分子科学研究領域）

E-mail: gakobayashi@ims.ac.jp, TEL. 0564-55-7440, FAX. 0564-55-7245

第45回固体イオニクス討論会開催のご案内

日時： 2019 年 11 月 26 日(水)～11 月 28 日(金)

場所： 九州大学伊都キャンパス (福岡市西区元岡 744)
椎木講堂

主催： 日本固体イオニクス学会

協賛： 応用物理学会、高分子学会、電気化学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本物理学会、
日本セラミックス協会

討論主題

- ・イオン導電性固体の創製と利用技術
- ・固体内イオン移動機構の解明
- ・電池・燃料電池材料の基礎

スケジュール(各締切日)

講演申込：2019 年 9 月 24 日(火)

講演要旨：2019 年 10 月 25 日(金)

参加申込 (予約登録)：2019 年 11 月 11 日(月)

参加登録費 (カッコ内は予約登録締切後)

主催学会会員：	5,000 円 (6,000 円)
協賛学会会員：	7,000 円 (8,000 円)
非会員 (学生除く)：	9,000 円 (10,000 円)
学生：	3,000 円 (4,000 円)
要旨集のみ：	3,000 円 (3,000 円)
懇親会：	7,000 円 (8,000 円)

(懇親会は 2019 年 11 月 27 日(水) 18:00-20:00 九州大学ビッグスカイ (生協食堂) にて)

問合せ先

第 45 回固体イオニクス討論会事務局

〒819-0039 福岡市西区元岡 744 九州大学 大学院工学研究院

高垣 敦 (事務局担当) 代表世話人 石原 達己

TEL/FAX: 092-802-6708

E-mail: ionics45@cstf.kyushu-u.ac.jp

Web: <https://www.ssi-j.org/symp/ssij45>

お知らせ

◆(主催)第76回 固体イオニクス研究会

テーマ：プロトニックセラミックスの最前線 (仮)

日時：2019 (令和元) 年12月予定

場所：東北大学大学院工学研究科

世話人：東北大学大学院工学研究科 高村 仁

詳細は、本会ホームページおよびメール配信にて、追ってご連絡します。

◆(協賛) 16th International Symposium on Solid Oxide Fuel Cells (SOFC-XVI)

日時：2019 (令和元) 年9月18日 (日) ～13日 (金)

場所：京都テルサ (京都市南区東九条下殿田町70)

詳細：http://www.eguchi-lab.ehcc.kyoto-u.ac.jp/SOFC_XVI/

◆(協賛) 第60回電池討論会

日時：2019 (令和元) 年11月13日 (水) ～15日 (金)

主催：(公社) 電気化学会 電池技術委員会

場所：国立京都国際会館 (京都市左京区宝ヶ池)

講演申込締切：2019年7月12日 (金)

講演要旨原稿締切：2019年9月13日 (金)

事前参加登録締切：2019年10月11日 (金)

詳細：<http://www.denchi60.org/>

本年度年会費・連絡事項

平成 2018 (平成 30) 年 10 月 1 日より本学会の第 7 事業年度に入りました。2018 (平成 30) 年 10 月 1 日～2019 (令和元) 年 9 月 30 日の年会費を 2019 (令和元) 年 7 月 10 日付で請求させていただきます。同封された請求書に記載されている振込先に納入をお願いいたします (名誉会員の方を除きます)。御所属や連絡先等の変更がございましたら、学会事務局まで至急ご連絡下さいますようお願い申し上げます。

**日本固体イオニクス学会ロゴマークが
新しくなりました！**

制作者
合田 さち男様
(岡山市在住)

たくさんのご応募
ありがとうございました。
今後も新しいロゴマーク共々、
よろしくお願い致します。

原稿募集

SSI-J Letter
年2～4回発行予定

プロジェクト紹介、成果紹介、
公募など何でもお寄せ下さい。
また、学会のメーリングリスト
やWebでの紹介も受け付けてお
りますので、事務局にご連絡下
さい。

(一社) 日本固体イオニクス学会事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
東北大学多元物質科学研究所
南総合研究棟 1 (材料物性棟 2 号館) 雨澤研究室内
E-mail : ssij@ssi-j.org
Phone/Fax: 022-217-5341/022-217-5343
Web: <http://www.ssi-j.org/>

※ 2019 年 4 月より、事務局が東北大学多元物質科学研究所雨澤研究室に移転いたしました。